

伊藤 広尚

ビジュアルインタフェース研究室

1.はじめに

ネット環境が一般家庭に普及しインターネットを使ったショッピングをする機会が増えている。大手通販サイト楽天でのジャンル別店舗数を調べた結果、ファッション関係取り扱い店舗が1位である。そこでインターネットを使ったファッション関係のショッピングサイトの問題点を考え研究テーマとした。

2.ショッピングサイトの問題点

現在のショッピングサイトは、上着なら上着のみ、シャツならシャツのみ、というように表示されるのが一般的だが、ファッションコーディネートの基本は、色とデザイン、素材の3点の相性だと言われている。図1と図2はあるショッピングサイトのズボン販売例である。これらの表示方法からいくつかの問題点を挙げてみた。

- A) 他の商品との色合い等の見比べが難しい。
- B) 上下や重ね着などのときは比較しづらい。
- C) 他店舗の商品との比較に手間がかかる。
- D) 自分の持っている服との比較ができない。

以上のような問題点が挙げられる。現在公開されているコーディネートソフト[1]などは、あらかじめ用意された画像を組み合わせる機能しかもない。

3.本研究の提案

これらの問題点を解決するためには、まず単品表示ではなく全てのジャンル（上着、ズボン、シャツなど）を一つの画面に表示し、コーディネートできる機能が必要である。そこで、色とデザインを比較することに重点を置いて、全商品を一括表示できるファッションコーディネート支援ソフトウェアを製作した。

4.ソフトウェアの実装

実装には VisualBasic.NET を用いた。このソフトウェアは図3のコーディネート画面と、図4の新規登録画面の二つのフォームからなる。ユーザは様々な Web サイトや自分のファイルから服やズボンの画像データを取得し、ジャンルごと（シャツ、ズボン、帽子等）に登録することができる。

新規登録する際には「商品画像 URL」だけでなく、「商品販売 URL」や「商品の価格」も一緒に登録する。登録フォームから登録された3つの情報（画像 URL、販売 URL、価格）はフォルダ内に作成されているテキストファイルに保存される。

使い方は、まずジャンル別に商品を登録し、画像の一覧を表示させる。表示された画像をクリックする事

で商品表示枠に商品画像と価格が表示される。商品表示枠に表示された画像をクリックすることによって、商品が販売されているページを Web ブラウザで表示することもできる。

5.まとめ

このソフトウェアを使用し実際に商品を購入、また自分の持っている服でコーディネートをする際に使ってみた。図3は実際に商品を購入するときに使ったコーディネート画像である。異なったジャンルの商品を一つの画面で同時に表示することで、買い物やコーディネートが今までに比べ容易になることが実感できた。ただ画像や商品販売 URL を登録する際に、若干の手間がかかるという意見も聞かれたので、それらのことを再検討していきたい。

6.参考文献

[1]Charagene <http://www.charagene.com/>



図1 サイト表示1



図2 サイト表示2



図3 商品表示フォーム

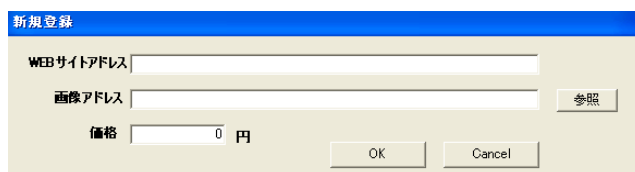


図4 商品登録フォーム